2019年9月9日(月)

来聴無料(申込者優先受付)

時間:午後1:00~午後4:30

場所:甲南大学岡本キャンパス

18号館3F講演室

第1部 基調講演

「近未来のキャンパス・カウンセリング」

講師 杉原 保史氏(京都大学学生総合支援センター長)



第2部 シンポジウム

「学生相談におけるテクノロジーの活用」

シンポジスト 高野 明氏(東京大学学生相談ネットワーク本部 学生相談所長・ピアサポートルーム室長)

堀田 亮氏(岐阜大学保健管理センター)

吉村 麻奈美氏(津田塾大学・ウェルネス・センター長)

指定討論 杉原 保史氏(京都大学学生総合支援センター長)

司会 高石 恭子(甲南大学学生相談室)

〈お問い合わせ先〉-

甲南大学カウンセリングセンター学生相談室

TEL: 078-411-4647/FAX: 078-453-4580

(平日:午前10時~午後5時·土曜:午前10時~午後12時)

テクノロジーと学生相談の融合

- 近未来のキャンパス・カウンセリング

甲南学園が創立100周年を迎え、臨床心理学の専門性を基礎に開設された本学の学生相談室が30周年を迎える節目の年に、特別公開シンポジウムを行います。個人が電子機器を携帯することのなかった時代に発展し、対面による「今、ここ」の心の交流を最重要としてきた学生相談と、メール・SNSなどの電子媒体やビッグデータの活用等を含んだテクノロジーとは、どのように融合しうるのでしょうか。何よりも、近未来を生きる学生のために役立つ支援とはどのような形をとるのでしょうか。わが国の学生相談界において先駆的な取り組みを続ける講師・シンポジストをお招きして、来場者と共に、学生相談の今後の発展について考えてみたいと思います。

プログラム

12:30~ 受付開始

13:00~13:10 ご挨拶 山崎俊輔(甲南大学カウンセリングセンター所長・学生相談室長)

13:10~14:10 第1部 基調講演

「近未来のキャンパス・カウンセリング」

メールやSNSを活用した学生相談(危機予防・成長支援)の可能性

講師 杉原 保史氏 (京都大学学生総合支援センター長)

〈講師紹介〉京都大学教育学部、京都大学大学院教育学研究科にて臨床心理学を学ぶ。大谷大学文学部専任講師、京都大学保健管理センター 講師等を経て、京都大学学生総合支援センター教授。1996年より現在まで20年以上にわたり京都大学で学生相談に携わる。 青年期の心理的問題を専門としているほか、心理療法への統合的アプローチに取り組み、伝統に縛られず現代のクライエントに より効果的な心理療法のあり方を幅広く探求している。

主著:「SNSカウンセリングハンドブック」(共編著)、「プロカウンセラーの共感の技術」他、多数。

14:20~16:30 第2部 シンポジウム

「学生相談におけるテクノロジーの活用」

シンポジスト 高野 明氏(東京大学学生相談所・ピアサポートルーム)

「アメリカにおけるテクノロジー活用の現状と日本における応用と課題」

堀田 亮氏(岐阜大学保健管理センター)

「学生相談におけるビッグデータ蓄積の意義と活用」

吉村 麻奈美氏(津田塾大学ウェルネス・センター)

「小さな女子大学の現場から、テクノロジー利用について考える」

指 定 討 論 杉原 保史氏(京都大学学生総合支援センター)

司 会 高石 恭子(甲南大学学生相談室)

参加申込方法

定員100名。当日参加も受け付けますが、事前申込者を優先してご案内いたします。参加希望者は、Web申込フォーム(http://ssl.konan-u.ac.jp/gentry/counseling)に必要事項および連絡事項欄に【100周年シンポ参加希望】とご記入の上お申込み下さい。申込締切は8月30日(金)。先着順の受付とさせていただきます。

※下記問い合わせ先への電話による申込も受け付けていますが、 開室時間にご注意ください。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

甲南大学カウンセリングセンター・学生相談室 Tel:078-411-4647/FAX:078-453-4580 (平日10時~17時、土曜10時~12時) ※8月11日~25日は夏期休室となります。 ■ Web申込フォームの QRコードはこちら→



■ ☆ペポース 販急神戸線岡本駅またはJR神戸線摂津本山駅下車、北西へ徒歩約15分 ※会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。